

# 私の見方

だんだん会理事長

宮崎 和加子さん

〈4〉



みやざき・わかこさん 認知症高齢者のグループホームや訪問看護ステーション、リハビリ特化ディサービスなどを運営する一般社団法人だんだん会理事長。訪問看護師。元全国訪問看護事業協会事務局長。2016年に八ヶ岳南麓へ移住。北杜市高根町。66歳。

## 介護支援 地域性考えて

国基準に加えて県が支援するコロナ禍でリハビリや半日デイサービスの需要が増えました。皆一人暮らしで外出できることで、山梨でも使える制度に変えてほしい。市町村にはできないことです。

前知識や党の方針に追従せず、自分がこうとと思うことに取り組んでほしいです。『世界一貧しい大統領』として知られ、豊かさとは何かと問う國連でのスピーチが話題を呼んでいます。要介護一步手前の人健康つくりを見守る場、1日1回も動きます。自分らしく安心して暮らせる地域だとアピールできれば、魅力を感じる人は多いはずです。

そうした在宅支援の筆頭が定期巡回サービスですが、山梨で整っているとは言えません。効率が悪いからです。北

杜市のような山村の現場で最も悩ましいのが移動にかかる経費です。東京のように路地広がっていません。

■求められる政策  
1回数回の訪問で食事や排せつなご生活の基礎を支えられ

ば、地域で暮らしていくことになります。山村が多い地域ができます。山村が多い地域性に合わせて、今ある制度を

なく、山梨はこうすればもう良くなると、地域の実情に合った施策をユニークな発想でつくることができる人です。やると決めたらしっかりと良くなると、アイデアがなければ、やり、アイデアがなければ、アイデアのある人を集めて聞いてもらいたいです。

■選択の基準  
不安定な世界情勢と山梨を切り離して考えることはできません。国の選択次第でそれなりの安定を得ることもできますが、日本政府が対応できているとは思えません。今の日本の国政についてどんな姿勢を持つ人か、それを見て選ぶべきないと考えています。

山梨は山も川も空気もきれいで自然が豊かに残っている世界でも素晴らしい住環境。大消費圏を近くに持ち、若い移住者も多く、地域の暮らしを支える事業を通じて人も物も動きます。自分らしく安心して暮らせる地域だとアピールできれば、魅力を感じる人は多いはずです。

〈聞き手・中嶋寿美子〉